



高輪だより

令和元年度 2月号
港区立高輪幼稚園
園長 柿沼 敦子

春の足音

高輪幼稚園長 柿沼 敦子

あちらこちらで水仙が咲き始める様子にいつもより早い春の訪れを感じます。

1月中旬、年長すみれ組と高輪台小学校5年生との交流は、再会を喜び合うことから始まりました。最初は学校探検。5年生が手をつないだり背中に優しく手を添えたりしながら案内をしてくれました。図書室では絵本も読んでくれました。すみれ組は幼稚園では一番の年上ですが、5年生の優しさに包まれ甘えていました。そして給食体験。献立は、「牛乳、ビビンバ、韓国風雑煮、イヨカン」でした。ビビンバの具は別になっていてご飯の上のせて混ぜてから食べるという楽しさも5年生に教えてもらいました。5年生がむきにくいイヨカンの皮を丁寧にむいてくれたり、食器の片付け方や牛乳パックの畳み方などを教えたりする姿もありました。最後は「さよなら」「元気でね」「またね」とあいさつを交わし、就学への期待を膨らませて帰園しました。

1月のある日、職員室に年中組の二人が来ました。ドアの所で「しつれいします」「コップをかしてください」と、年長児がするように二人揃ってあいさつをしました。ちょっとドキドキしますが友達と一緒に安心、心強い様子でした。担任はAちゃんの不安を解消しながらBちゃんの自信を高めようという思いだったようです。二人とも職員室にいた全員から褒められ、心を弾ませて戻って行きました。そして年中組は、年長組からやり方を教えてもらって誕生会の司会をしました。進級に向けての準備が始まっています。

年少組は、ひよこの会で小さい友達に歌を歌ったり、手遊びを見せたりしました。園生活で唯一自分たちが年上の場面です。歌った後は握手などをしてお兄さんお姉さんぶりを発揮していました。

もうすぐ子ども会です。学年ごとに劇や劇遊びなどの表現活動を楽しんできたことを保護者の皆様に見ていただきます。一人ひとりが表現する姿を応援し、たくさんの拍手をお願いいたします。

年長すみれ組と5年生との交流



年中うめ・もも組 誕生会の司会に挑戦



年少組うさぎ組ひよこさんに歌のプレゼント



＜評議委員会＞ 評議員の皆さんに保護者評価や自己評価の結果を報告し、ご感想、ご提案をいただきました。

「昨年度と比較すると今年度は、保護者が園の教育を理解した上での評価となっている」「教育要領の改定に沿って地域に開かれた幼稚園になっている」「経営方針は、園と家庭の教育の連携、地域とのつながりに重点をおき、様々な場面で発信されていた」「電子マネー化など生活での実体験が薄れてきているが、地域との関りのなかで大事な体験をしている」「地域との関わりを大切にすあまり、子どもたちの遊びが分断され深い遊びがおさなりにならないかという課題について検討してほしい」「保育参加は区立保育園では全園で実施している。積み重ねることで取組の本質が理解されていくので続けるとよい」「先輩も新任の教員もそれぞれの立場で悩みながら成長していることがよくわかる。教員の前向きさが園児に伝わっている」「今年は特に保護者の方々が花いっぱい活動で活躍、ご協力してくださりありがたい」などのご感想、ご提案をいただきました。次年度の教育課程、経営に活かしてまいります。